

第 27 回 湯河原幕山・南郷山縦走ハイキング

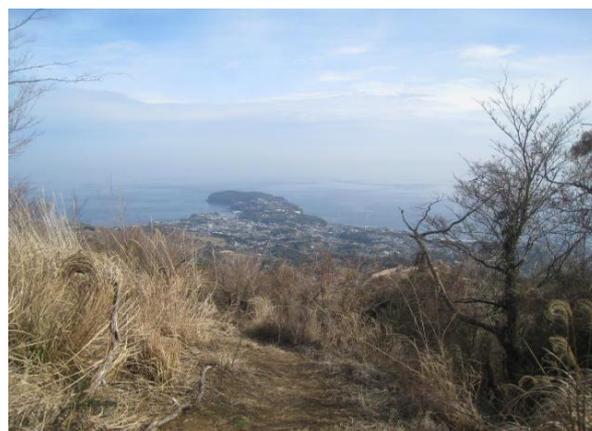
(源頼朝ゆかりの地を訪ねる)

この時期、梅まつりで有名な湯河原梅林の“梅の宴”が 2/3(日)～3/10(日)開催とあって、梅花観賞と幕山 626m から南郷山 612m 縦走のハイキングに出かけました。幕山の裾野に咲き誇る約 4000 本の梅の花はやや終盤に差しかかっていたようですが、遅咲きのものも随所にありカメラを手にした仲間連れや夫婦連れなど行楽客で賑わっていました。

そんな梅花を眺めながら、九十九折の山道をひたすら頂上へ・・・登山口を 11 時 40 分頃出発、整備された山道を何度か休憩をしながら頂上に辿り着いたのが 13 時少し前でした。天気予報によると午前是好天でも午後から曇りでしたが、予報が良い方に外れ 16 時過ぎまで晴天で視界もよく、頂上から見る湯河原市街地、真鶴半島、伊豆半島、相模湾等々は絶景で最高のハイキング日和でした。

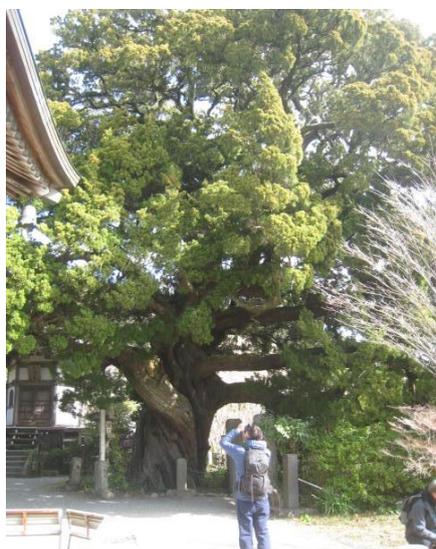


幕山山頂で



山頂から見る真鶴半島と相模湾

そして、今回の湯河原ハイキングは登山以外に 1180 年代、源頼朝がこの地に残した足跡を辿るのも目的の 1 つでした。



巨木の バクシン

最初に立ち寄ったのが湯河原駅の裏側にある成願寺で、この寺は土肥一族の菩提寺で山門の脇に土肥実平が植えたとされる伝説の木“バクシン”が樹齢 900 年とも云われる巨木で見事に威容を誇っていました。

境内に石橋山の戦いに敗れ、逃走した源頼朝ら主従 7 人の像が祭られている 7 騎堂があり、その中に頼朝が伊豆に流罪になって依頼ずっと見守っていたとされ土肥実平も含まれている様ですね……。頼朝が休んだとされる腰掛石もありました。

幕山山頂で昼食をとった後、尾根続きの南郷山に向かって 20 分ほど歩いた所のヒノキ林の中に周囲 100m もあったろうか？小さな池がありました。

これがかの有名な池，自鑑水（自害水）でした。頼朝が疲れ果てて手や足や顔を洗ったのだろうか？水面に映った自分の哀れな姿を観て自害を決意したとされるこの小池，しかし従者に諭されて自害を取り留めたとされるそんな歴史的な池なんですね。



頼朝 七騎堂

源頼朝が必死で逃れたこの湯河原，城山・幕山・南郷山そして真鶴半島に辿り，そこから土肥実平らと安房（南房総）に渡り再決起を誓います。

今から 800 年以上も前の出来事，源頼朝の足跡を辿ることが出来たようなそんなロマンを感じました。



自鑑水（自害水）



南郷山山頂で

幕山は標高 1000m に満たない低山ですが，山道途中に平坦地が少なく登り一辺倒，下りも同様に疲れの増幅を感じるコースでした。ゴールは石橋山の戦で必勝祈願を行ったとされる五郎神社，ここからバスに乗り湯河原駅に着いたのが 17 時頃でした。

駅前の居酒屋“さかなや道場”で恒例の反省会，旨い魚にビールで乾杯，会話も弾み登山の疲れは何処に行ったのか？・・・登ってしまえば満足感いっぱいの楽しいハイキングでした。さて，次回は何処に行きましょうか？

<コースの概要>

湯河原駅⇒成願寺(頼朝七騎堂) ⇒湯河原梅林 ⇒幕山 ⇒自鑑水 ⇒南郷山 ⇒五郎神社⇒湯河原駅
概略行程：高低差 600m，歩行時間＋休憩 7.0Hr，距離 10km

(記：熊谷 忍)